

新春めぐみ句会

初雪や窓から見える山の景
 おとし玉子供の頃を想い出し
 かしこまり幼き子等も初詣
 若夫婦仲むつまじく初詣
 口あけて腹の底まで福笑い
 お餅つき元気な掛け声園児達
 数の子にゆらぐ入れ歯の鳴りにけり
 初詣二人揃って祈る何
 お正月たこ上げをする元気な子
 数々の病持つ身や初鏡
 お年玉童女と成りて享けにけり
 元旦や着飾りし人バスを待つ
 初風呂の湯気の動ける寮母かな
 伸ばぬ足伸んだ気がする初湯かな
 句誌膝に心平やお元日
 裏の竹折れんばかりや冬嵐
 寒椿こぼれ日うけて輝けり

(総評) お正月にふさわしい句が沢山ありました。

泣き初めや玩具の様なベビー靴



添削指導

俳句クラブ講師

戒能多喜先生

すみれ 正まぐち 恵美子 南美北 久庵美 蟻蔵 橋蔵 三恵子 三子 菖子 花風 柳生 巨石 雅秋 玲れん 多喜

新春書初め

思いきりのよい
 若さがあふれている



吉本 恵子

筆の打ち込み、払いが
 しっかり書けている



曾我 竜二

気持ちよく
 すっきり整っている



河野喜代一

左手でみごとに
 書けている



高橋 道夫

やさしい字体で
 よくまとまっている



宇都宮スズ子

講評

習字クラブ講師

片山益男先生

